

「さんいん未来キッズプロジェクト」に協賛 鳥取・米子ショールームで職業体験イベントを実施

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタANDARD株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）は、BSS 山陰放送（本社：鳥取県米子市、代表取締役社長：坂口吉平）が主催する「さんいん未来キッズプロジェクト」に協賛し、2025 年 8 月 20 日（水）に鳥取県・米子ショールームで小学生対象の職業体験イベントを実施しました。



（当日の様子／左：実際のキッチンで商品について学ぶ、右：作成したプランを発表）

「さんいん未来キッズプロジェクト」は、鳥取・島根県で子どもたちを対象に、働くことの素晴らしさや地元にあるさまざまな仕事を知ってもらうことで、子どもたちの将来の夢や視野を広げ、主体的な進路選択を促すことを目的とした職業体験イベントです。当社も、「子ども未来プロジェクト」として、子ども食堂や児童養護施設へのキッチンリフォーム支援など、子どもの未来を創る取り組みを推進しており、今回同イベントの理念に賛同し、協賛する運びとなりました。また、タカラスタANDARDは全国に業界最多の約 160 カ所のショールームを有しており、地域密着の営業活動を行っています。地元メディアが主催するイベントに協賛することで、今後も各地域におけるブランディングの強化を図っていく考えです。

8 月 20 日（水）に鳥取県・米子ショールームで、10 名を対象に、快適な住まいを提案するショールームアドバイザーの仕事体験を実施しました。ホーローやシステムキッチン、ショールームアドバイザーの仕事について学んでいただき、実際の接客トークを練習。ご家族の方のお悩みや要望をヒアリングしてもらった後、それを解決するリフォームプランを作成し、参加者の前で発表していただきました。参加した子どもたちは、最初はプラン作成に苦戦している様子でしたが、親御さんの悩みを解決したことで、最後は笑顔に。将来タカラスタANDARDで働いてみたい、などのお声もいただきました。

当日の様子は、9 月 27 日（土）13:30 から BSS テレビで放送予定の特別番組で放送される他、山陰の全小学校に DVD が配布される予定です。

タカラスタANDARDはこれからもさまざまな取り組みを通して、より多くの人により心地よい暮らしを楽しんでいただけるよう努めてまいります。

<タカラスタANDARDとは>

1912 年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912 年 5 月 30 日（創業 113 年） / 売上高<連結>：2,433 億円（2024 年度） / 従業員数<連結>：6,560 名（2025 年 3 月末時点）]